

総務企画 委員会

重点調査項目

●市民協働のまちづくりを目指して ～中間報告～



地域審議会役員との意見交換

地域審議会役員と意見交換！

地域審議会設置規程により設置期間は平成17年2月1日から平成27年3月31日までとなり、約2年後には廃止となる。

総務企画委員会ではこうした状況を踏まえ、「市民協働のまちづくりを目指して」の調査研究の一環として地域審議会役員と意見交換をした。

役員の方々が審議会委員として、地域のごとに真剣に取り組み、努力されている姿がうかがえた。その中で

ご意見や内容は次の通り。

※情報提供について

地域審議会を知らない人が地域にいるため、審議会の情報提供を行わなければならないと感じた。しかし地域によつては町内会の月例会で情報伝達されている所、あるいは「審議会だより」にて周知されている所等、情報提供を活発に行っている地域もあった。

※人数・任期について
任期の2年や人数については妥当であるが、女性の参加が少ない傾向があり、男女の比率を考へてほしい。

※開催回数について
現在年3回程度であるが、実際は勉強会を同じくらい開催している。もっと多い方がよい。

※予算について
組まれたものを答申するだけである。地域振興特別予算を含め、地域の予算編成等にかかわればよいのでは。

ご意見や内容は次の通り。

※イベント開催について

合併以後地域のイベントが実施できたことは感謝している。しかし、今後イベントを守り育て継続していくには、人と経費が必要。地域事情がそれぞれ違うことに理解を示してほしい。

※報酬について
妥当であるが、遠距離の方には交通費が必要ではないか。

※今後の審議会の在り方について
2年後に廃止される審議会であるが、形・名称は変わっても地域振興のために是非残してほしい。

※支所長について
支所地域の理解を深めるために在任期間を長くしてほしい。また支所長権限をもつと与えてほしい。

※その他
・行政の諮問機関だけでなく「地域づくり」を考へていける組織体制が必要だ。



地域再発見事業～荘川地域～地芝居

地域再発見事業！

各支所において、地域力の向上を目的として、その地域の魅力的

- ・若い人達の声が届く体制が必要だ。
- ・審議会のリードで「元気を語る会」を組織し幅広く意見交換している。
- ・地域事情を調査し、行政に「予算事業提案書」を提出して事業を推進。また、リーダー育成事業で毎月考へる会を開催し若い人と意見交換を

- している。
 - ・行政へ「支所の独自性、権限、審議会について」意見書を提出。
 - ・行政へ地域の重要課題を取りまとめた意見書を提出。
- 総務企画委員会としては、今後、これらの貴重なご意見を踏まえ、調査研究をさらに深めていきます。

な事業等の再発見や地域資源の発掘を行い、人材育成や今後の地域おこしにつながるよう、平成22年度から3年間にわたり「地域再発見事業」に取り組んでいる。

今年度の活動報告会を受け現地視察を実施。

それぞれの支所地域が地域特性をつかみ、今後の地域づくりの方向性を導き出していた。